

M I D O R I

世界のMIDORIが奏でる
至福のメンデルスゾーン
世界三大音楽祭の感動を日本で！

モーツァルト…交響曲第41番 長調 K551 「ジュピター」
ファビアン・ミユラー…ガーヤトリ 狂詩曲
メンデルスゾーン…ヴァイオリン協奏曲 短調 op.64 MWV Op.14



五嶋みどり

with
ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団
大阪公演



【管弦楽】ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団
Festival Strings Lucerne

2026 3.20 (金・祝) 14:00開演 (13:00開場)
ザ・シンフォニーホール

TheSymphonyHall プラチナコンサート
世界の巨匠とともに 2025



【リーダー】
ダニエル・ドッズ

S 23,100円 A 18,700円 B 16,500円 C 15,400円 (全席指定・税込)

主催：ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycity.jp>

プレイガイド

- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycity> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycity> [Lコード: 55533]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycity> [Pコード: 289-328]

公演の
詳細については
こちら▶▶▶



令和7年度
文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

五嶋みどり with ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団 大阪公演

五嶋みどりがルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団とともにザ・シンフォニーホールに帰ってくる。演奏するのはメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲。ヴァイオリニストであるなら誰もが弾く名曲であるが、簡潔に書かれているがゆえに、ヴァイオリニストの個性がはっきりとわかる作品でもある。近年はどちらかといえばシンプルな音楽作りに傾倒している五嶋みどりがどんな演奏を聴かせてくれるのかとても楽しみだ。またこの演奏会では指揮者が置かれず、独奏者とオーケストラが直接コミュニケーションし、アンサンブルする。全体を通して五嶋みどりの音楽性がより濃く反映された演奏となるに違いない。彼女はルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団と、2020年にベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と「ロマンス」第1番、同第2番を録音するなど、既に共演を重ねている。遂にその素晴らしいコラボレーションを目の当たりにすることができるのは本当にうれしい。ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団は、1956年にヴォルフガング・シュナイダー・ハンとルドルフ・バウムガルトナーによって創設され、現在は、ヴァイオリニストのダニエル・ドッズが芸術監督及びコンサートマスター（リーダー）を務める。今回、彼のリードするモーツァルトの交響曲第41番「ジュピター」にも注目である。

山田治生

[ヴァイオリン] 五嶋みどり MIDORI, violin

11歳でニューヨーク・フィルと協演した衝撃的なデビューから40余年、稀有な演奏技術に裏打ちされた品位と勇気こそが五嶋みどりの真骨頂である。円熟の域に達した今なお、たゆまぬ研鑽を重ね、将来を見据えた委嘱プロジェクトや演奏機会の少ない作品の紹介、現代曲への積極的なアプローチなど、今日のクラシック音楽界を牽引するヴァイオリニストである。1992年に設立したMidori & Friends(米国)とミュージック・シェアリング(日本/第62回「社会貢献者表彰」受賞)を中心に、米国ではさらに複数の団体やプロジェクトを展開するなど、時代のニーズを先取りした社会貢献を30年以上継続している。ヴァイオリニスト、音楽家、芸術家である前に一人の人間のあるべき姿を追求するMIDORIの姿勢は、多くの共感と敬意を集め、2007年からは国連ピース・メッセンジャーとして、国連が掲げるSDGsに関連した様々な課題を克服すべく、現在に至る。現代音楽家のロールモデルとして、MIDORIは年々影響力と存在感を高めるとともに、第一人者として次代の育成にも尽力している。カーティス音楽院で教鞭を執るほか、2025年秋よりジュリアード音楽院大学部門でも後進指導に力を注ぐ。愛器はガールネリ・デル・ジェス「エクス・フーベルマン」(1734年製)。録音作品は複数のレーベルから多数リリースされ、高評価を得ている。五嶋みどりが制作・出演した短編アニメーション『Musical Journeys with Midori, Mack and Cheese』のシリーズはNHK World にて全世界に放送され、『MIDORIとチーズの音楽日記』が、ショートショートフィルムフェスティバル&アジア2024で上映された。国際的な受賞歴も数多く、直近では米国ケネディ・センターより「名誉賞」を受賞。



© Timothy Greenfield-Sanders

公式サイト <https://www.midori-violin.com>

Facebook <https://www.facebook.com/GoToMidori>

ミュージック・シェアリング <http://www.musicsharing.jp/>

Midori & Friends <https://midoriandfriends.org/>

[リーダー] ダニエル・ドッズ Daniel Dodds, leader

ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団芸術監督。2000年よりコンサートマスターを務め、2012年より芸術監督に就任。ソリストとしてズーピン・メータ、ウラディーミル・アシュケナージなどと共演。同楽団創設メンバーのバウムガルトナーのマスタークラスを修了。現在、ルツェルン音楽祭のソリストおよび芸術監督や客演コンサートマスターとして活躍している。使用楽器は、ルツェルン音楽祭弦楽器財団から提供された1717年製のストラディヴァリウス "Hämmerle-Baumgartner" と、モニカ・ヴィドマー・ルツェルン財団から提供された1680年頃のストラディヴァリウス "Seillière"



© Fabrice Umiglia

[管弦楽] ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団 Festival Strings Lucerne

1956年の創立。創設期はヴォルフガング・シュナイダー・ハン、ルドルフ・バウムガルトナーによる、チェンバロを伴う弦楽アンサンブルとして活動。2012年からはダニエル・ドッズが芸術監督を務めている。ルツェルン音楽祭のゲスト出演のほか、ウィーン楽友協会、ベルリンのフィルハーモニー、アムステルダム・コンセルトヘボウなど一流コンサートホールで定期的に演奏している。エレーヌ・グリモー、ダニエル・トリフォノフなどの著名な音楽家との共演やキアン・ソルタニ、ヤン・リシエツキなどの若い世代の音楽家との共演も重ねている。特にルドルフ・ブッフビンダーと五嶋みどりは緊密なパートナーシップを結んでいる。2020年には五嶋みどりとのベートーヴェン・アルバムをリリースしている。ルツェルン・フェスティバル・ストリングスとして活動しているが、今回は管打楽器を伴うルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団として特別編成で来日する。



© Fabrice Umiglia